

社会福祉法人入間市社会福祉協議会 入間市ボランティアセンター

入間市豊岡4-2-2(入間市市民活動センター『愛称：イルミン』1階)

【Tel】04-2964-0486 【Fax】04-2963-1072 【HP】<http://www.iruma-shakyo.or.jp>

【Eメール】iruma_vc@atlas.plala.or.jp 【担当】利光・鈴木

今年もよろしく
願います

東日本応援！ ボランティア活動報告

実際に活動したボラン
ティアさんの報告です！

東北を忘れない

— ぼくの場合のボランティア —

出会ったボランティアの多くが私と同じだった。自分の家に居ても心が落ち着かない。だから、現地に来た。

震災直後の2週間は燃料が手に入らず動けなかった。ある支援団体の元で現地を送る物資の買い出し。例えば炊き出しの為にプロパン仕様の大きな炊飯器、使い捨て食器などを求めてネット検索、埼玉、東京を走り回った。そして全国の家庭から送られてくる救援物資の仕分け作業は大量多種多様、東北の方々の切実な避難の様子を思い浮かべながら多くの人達と共同作業。

3月末、北に向かう東北道のワゴン車はどの車も窓に貼りつくように荷物満載。宮崎・長崎・高知・大阪・・・日本各地のナンバーが被災地へひた走る、その気持ちがひしひしと伝わる。涙が出た。着いた宮城県石巻専修大学グラウンドはボランティアテント村になっていた。まだ水も電気も無いから自炊だ。私は1週間分の食料を持って行った。カナダ人、アメリカ人、韓国人もいた。臨時チームを作り車に乗って現地調査。もうほとんどの方は避難所に居る時期だが、壊れた家屋に残っている方も居て、そういう地域を把握、避難所ではないから支給されない食糧・物資を配布。魚が泳いでいる水溜りとなった道路を避け、ダンプが突っ込んでいる和風家屋の前を歩きながら拡声器で叫ぶ「炊き出しの温かなシチューが有ります」

4月末、多くの情報はネットだった。県外や個人のボランティアを受け入れている社協はまだ多くなかったが気仙沼ボランティアセンターで活動。ビルの泥出し、水に浸かった床下の修理など、道案内兼運転手も被災された方でした。



5月からは南三陸～気仙沼で活動する団体の中で活動。初めは、避難所を出て親戚などに避難されている方のお宅に訪問して要望を聞いて廻った。避難所以外には情報も物資もあまり廻って来ないから、多くの細かな支援が必要だった。

6月、太鼓を積んで行き避難所の野外の交流スペースに置いて子供達と遊んだ、音を聞きつけてお年寄りが避難所から獅子頭を持って来て踊ってくれた。餅つき会では笛と太鼓で囃した。

8月の子供キャンプでは中止になった祭りの代わりに子供達とお囃子を入れて神輿を担ぎ、海の作業小屋の復興式ではお囃子演奏。

元旦、被災された方々の声を聞いて仮設住宅12か所に獅子舞いでお邪魔した。『大変な状況だからこそ賑やかな正月を迎えられて嬉しい』というお話を聞き、行って良かったんだと改めて思った。

北原 修

きたはら おさむ

北原 修 仕事をしながら演劇活動の後、民族歌舞団で活動。その後、福祉作業所で働き現在はフリー。4女の父。入間市上藤沢在住20年。

★★★復興支援ボランティア活動の報告を掲載しませんか。くわしくはボランティアセンターまで。

※掲載されない場合もございます、あらかじめご了承ください。

盲導犬ユーザー福井恵子さんの心温まるお話し！

毎年催されている西武学園文理のハンドベルコンサートに今年も招かれました。そこで、盲導犬ユーザーとして体験談を述べ、デモンストレーションの後募金の授与式があり、最後にふれ合いタイムもありました。

その席で声をかけてくれた青年は、小学生の時、私とカレンに会ったのがきっかけで、盲導犬に関心を持ったそうです。総合学習でまいた小さな一粒の種が芽を吹き、実をつけようとしている場面に遭遇し、あらためてカレンの活躍ぶりや足跡の大きさをかみしめた瞬間でした。

同じ会場で、生まれつき全盲の9歳の女の子がネネと歩きたいと言うので、訓練士さんの許可を得て、会館の外を体験歩行してもらいました。体験後に満足気にネネをなでていたのが印象的でした。私は、カレンの後を引き継いで頑張るネネをほめてやりました。

福井恵子&ネネ



※カレン…福井さんとカレンが初めて会ったのは2002年6月18日。それから2010年5月13日の引退まで福井さんをサポートする盲導犬として活躍しました。現在は、退役犬ボランティアさんからタップリの愛情を受けていて、「カレンは今、最高の環境にいます」と福井さんが教えてくださいました。

シモーネの福祉の仕事 ～イタリアから～

文：シモーネ・ソリア 翻訳：上野恵利

僕は2004年に大学の情報工学科を、自分の発明したパソコンのソフトを卒業研究課題として卒業し、その後本格的にこのソフトの開発販売プロジェクトを立ち上げた。ソフトは重度身体障がい者でも手を使わずにパソコンを使えるというものだ。

自分自身が重度身体障がい者ということから、特に自分と似た障がいがある人に表現の方法を提供したいという思いと、重度の障がいがあっても、よりよい人生を過ごせるように保障されている社会にしたいという思いから、熱意を持ってこの仕事に取り組んでいる。

2005年から障がい者とその家族へ本格的にソフトを提供し始めた。障がいのある本人に接し表現の可能性を探っている時間は、なるべく周りの人達の新入観や偏見、場合によっては医者カルテに書かれていることも、くつがえしてしまうような、よりよい可能性を引き出せるように努めている。そして「この人はこれができない、わからない」とすぐに決め付けないように心がけている。そうすることで、たとえば重度身体障がいのある子供が両親の知らないうちにアルファベットを知っていたり、ということに気がつくことがある。

障がいのある本人に初めて会う時には、その人が「はい」と「いいえ」をどのようにして表現できるかを探ってからその人の体の動きをよく観察し、その動きが自分のソフトにどのように適応できるかを考える。そして最終的な目標のただパソコンを使うに留まらないところを目指す。ソフトを使う目的は「文書を書くこと」



シモーネ・ソリア

★1979年イタリア、レッジョ・エミリア州モデナ市生まれ
★エンジニア、有限会社 AIDA (アイダ) 社長

自身も痙性四肢麻痺障がいがありながら、障がい者と高齢者のための手を使わずに体の一部でマウスを操作するソフトの開発、販売をてがける。

「音楽をスタート、ストップさせる」など、人それぞれ異なる。共通していることはその作業を一人だけで行うということで、それがうまくいくと障がい者になってから初めての「他の人の手を借りずに自分だけで行う作業」を行うことになる。その瞬間に立ち会うと本当にこの仕事をしてよかったと思う。

現在このソフトを使う人はイタリアで約300人になる。常に手探りで仕事をしながらも、僕のこの仕事が障がいのある人たちの役に立ち、また障がい者との仕事の世界にも新しい風を吹き込んでいることを願う。

(*^。^*) みなさんご存じのようにシモーネさんには「みんなの手」に何度か登場していただいています。昨年は100号発行記念講演会の講師をお願いしていましたが、東日本大震災の影響により開催することができませんでした。

4月に上野恵利さんと一緒に来日予定のため、今度こそみなさんにお話を聞いていただこう！とただ今企画中です。

★★★次号3月号は、上野恵利さんの「イタリア滞在レポート Vol.24」を予定しています。

健康福祉センターまつり開催に伴う募集情報!

●血液型検査(ABO式)

【定員】200人 ※定員を超えた場合は抽選

【費用】無料

【申し込み】2/15(水)〈必着〉までに往復はがきに右図のように記入し、郵送してください。

※申し込みは1人につき1枚まで(複数枚の申し込みは2枚目以降無効、複数名の記載は2人目以降無効)

【結果通知】…全員に抽選結果を通知します。

検査希望者の
住所
氏名
電話番号
生年月日

往 信

358-0013
往 信
上藤沢 730 の 1
健康福祉センターまつり
健康測定担当 行

返信表面

郵便番号
検査希望者の住所
検査希望者の氏名 様

※検査希望者が 15 歳以下の場合は保護者氏名も明記してください

返信の裏面には何も記入しないでください。

●「障がいのある方の作品展」展示作品

皆さんが心を込めて取り組んだ作品を出品してみませんか?

【対象】障がいのある方

【募集作品】絵画、写真、工芸作品、書道、俳句、詩等で1人(1グループ)1点。

詳しくは、募集要項(健康福祉課で配布またはホームページに掲載)をご覧ください。

【参加費】無料 ※展示スペースに限りがあるため、申し込み多数の場合は先着順とします。

【申し込み】2/1(水)~2/20(月)までに、募集要項にある申込書に記入し、健康福祉課(ファックス可)。

●健康ふれあいウォーク(小雨決行)

4km、8kmのコースをみんなで楽しく歩きましょう!!

【集会所・時間】入間市役所正面玄関・4km…10:00、8km…9:30

【解散場所】健康福祉センター

※市役所へは路線バスでお戻りいただけます(有料)

【定員】両コース合わせて先着80人

(小学生以下は保護者の同伴が必要です)

【参加費】300円(保険料等) 【持ち物】雨具、タオル、飲み物

【申し込み】2/1(水)~3/1(木)までに、参加費を添えて健康福祉課

【問い合わせ】

健康福祉センターまつり実行委員会事務局

(市健康福祉センター健康福祉課内)

〒358-0013 上藤沢 730-1

TEL:2966-5513 FAX:2966-5514

まつりについては、広報いるま 2 月 15 日号でお知らせします。

共学支援ボランティアの活動を紹介します

平成 23 年 11 月 19 日に行われた福祉映画会で上映された「ディア・ドクター」を狭山特別支援学校の生徒さん 4 名が観賞し、生徒さんをサポートするために共学支援ボランティアに登録している 8 名のサポーターさん(ボランティア)が活動しました。



共学支援サポーターの感想

★普段の学校生活とは違った地域の人達の中で、映画鑑賞をサポートしました。参加した生徒さんの受け止め方はそれぞれ異なり、セリフや会話に手を叩いたりして楽しんで過ごした 2 時間だと思います。マナーを守り、サポートを必要としない優等生でした。これから多くの地域活動に参加して欲しいと感じました。

保護者の感想

★子ども向けの映画ではなかったものの楽しく観て感動し、比較的静かに観賞する様子が見られ成長を感じました。私も何年ぶりの映画を楽しみました。ありがとうございました。このような機会が増えるとうれしいです。(高等部1年・女子の祖母)

生徒さんの感想

★ぼくは、初めて福祉映画会に参加をしました。2 人のボランティアさんと一緒に映画を観ました。とても眠くなってしまって、ずっと寝てしまいました。ゴメンナサイ。(高等部3年・男子) ★映画は、むずかしかったけれど、先生やお友達と一緒に観れて、楽しかったです。(高等部 1 年・男子) ★人情味あふれる医者であれば偽医者でも通用するのか? ディアドクターというから医者の苦労話しかないと観に行ったら裏切られた思いが残りました。場面が前後して分かりにくかったです。(高等部3年・男子)

共学支援サポーターとは?

入間市・狭山市・飯能市社協、狭山特別支援学校、同校PTAで養成した「支援籍」を応援する地域のボランティアです。

ボランティアセンターからのお知らせ

使用済み切手の整理の会

★生涯学習フェスティバル

生涯学習フェスティバル（12/4）に参加しました！
ボランティアセンターのPRのために、誰にでもできる「使用済み切手の整理体験」をボランティアさんと一緒に体験していただきました。

今回は、みんなで作った「しおり」を配り、大好評でした。



しおり作りの様子です。



★送りました

みなさまからお寄せいただいた「使用済み切手」、「使用済みインクリボンカートリッジ」247個を送付しました。これらは換金するなどして、福祉の分野で役立てられます。



★ベルマーク

回収BOXに入っていた「ベルマーク」を整理し、狭山特別支援学校で活用していただくことにしました。
※ボランティアセンターでは収集していませんのでお近くの学校などへ！

ボランティアと一緒にやってみませんか？ どなたでも参加できます、直接お越しください。

【日時】毎月第2・4木曜日 13:00~15:00（祝日と12月の第4はお休みです）

【場所】市民活動センター3階 【持ち物】はさみ 【問い合わせ】ボランティアセンター



ゆずります

【品物】車イス

【詳細】未使用に近い状態です。
重量タイプ

※市内なら運びます（要相談）

【申し込み】

ボランティアセンターまで
先着順受付（提供者の連絡先をお教えしますので直接連絡してください。）

掲載希望について

『みんなの手』『はじめてみようボランティア』に掲載を希望する場合は、毎月10日までお願いします。

FAX やメールの場合、必ず連絡先を記入してください。

※掲載されない場合もごさいますご了承ください。

「みんなの手」は下記の場所に置いていただいています

- 入間市役所（市民ホール・市政情報コーナー・福祉の店） ●市立図書館（本・分館） ●支所 ●公民館 ●市民会館
- 産業文化センター ●健康福祉センター ●市民体育館 ●児童センター ●青少年活動センター ●武道館
- 博物館アリット ●リサイクルプラザ ●文化創造アトリエ アミーゴ ●農村環境改善センター
- 老人福祉センターやまゆり荘 ●シルバー人材センター ●勤労者福祉サービスセンター ●入間市内の各郵便局
- 市内福祉施設 ●市内地域包括支援センター・在宅介護支援センター
- ★豊岡…丸広百貨店入間店（掲示）、入間ショッピングプラザ・サイオス、Uアリーナ ★宮寺…小林病院
- ★野田…ふらいぱんや ★下藤沢…ヨークマート武蔵藤沢店 ★久保稻荷…玄米菜食&カフェ SAIEN
- 入間市理容組合加盟店（使用済み切手の回収にも協力してます！）

“みんなの手”を置いたり、掲示していただけるお店など募集しています。

